

平成 30 年度 第 1 回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覽用

1 開催日時 平成 30 年 6 月 27 日 (水) 午後 1 時 30 分 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者 (委員)

北川博巳	会長	大野亮祐	副会長
本間和典	委員	畠宏一郎	委員
足立安夫	委員	中川武	委員 [代理]
大谷健太郎	委員 [代理]	石田光	委員
藤浦俊行	委員	竹内崇訓	委員
永井正伸	委員	長田貴	委員
畑幸一	委員	太田嘉宏	委員

委員 14 名出席

(オブザーバー) 正垣 あおい

(デマンド(予約)型乗合タクシー運営者) 藤本 泰 男

4 欠席者 中澤秀明 委員 中辻 剛 委員
山田吉晴 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

(1) デマンド交通の状況分析について

(2) 路線バスの利用状況について

(3) 平成 29 年度の実施事業及び決算について

(4) 平成 30 年度の事業案及び予算案について

(5) 規約等の改正について（報告）

(6) その他

4) 閉 会

(事務局長)

只今から平成30年度第1回の丹波市地域公共交通活性化協議会（丹波市地域公共交通会議）を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きますと有難うございます。

本日は、平成30年度第1回目の開催であり、委員の方の交代もありましたので、改めまして委員の皆様をご紹介させていただきます。

[丹波市地域公共交通活性化協議会（丹波市地域公共交通会議）委員紹介]

それでは以降の進行につきましては会長にお渡しを致します。どうぞよろしくお願い致します。

(会長)

皆さんこんにちは。平成30年度になり、異動等による交代で新たに委員になられた方々もおられますし、任期の2年目となりますが、今年度もよろしくお願い致します。

丹波市の公共交通のこれからの方向性については本協議会で考えているところですが、今年度から、丹波市未来都市創造審議会という約20年後の丹波市の将来の都市構造のあり方を審議する会議が行われていて、私と副会長がその会議に参加させて頂いております。私は丹波市地域公共交通活性化協議会（丹波市地域公共交通会議）の会長という立場で出席しておりますが、その中で、将来も住み慣れた地域に住み続けるには、公共交通等の移動施策が非常に重要であると申し上げています。デマンド交通を主に交通ネットワークを考えていくのかということも議論に上っています。ただ、未来志向的に考えると、最近はいろいろと技術革新もあるので、10年後や20年後のデマンド、バス、タクシーをどのように考えていくのか、どうなっていくのかは実際にはよくわかりません。しかし、現場に携わっている者として本協議会は非常に強みがあると思いますので、これまでの経験やデータの蓄積を持ってどのような未来像が考えられるのか、様々なヒントを頂きながら、未来都市創造審議会の方の議論も進めていきたいと思っておりますので、また皆さんからいろいろなお話とか今後のあり方についてご意見等をお聞かせ頂けると有難いです。このように、公共交通を取巻く状況もかなり劇的に動きつつあるのかなと思っております。

では、本日の議事は、デマンド交通の状況分析、路線バスの利用状況、平成29年度の実施事業及び決算、平成30年度の事業案及び予算案、規約等の改正（報告）についてです。デマンド交通の状況分析、路線バスの利用状況や動向をしっかりと見て、今後をどのように考えていくべきなのか、昨年来のいろいろな宿題、新病院の話や福祉の交通の話等も確認しながらやっていければと思います。それから、年度の初めですので、昨年度の決算という大きな仕事もありますので、審議の程よろしくお願い致します。

それでは、1番目のデマンド交通の状況分析について説明をお願いします。

[デマンド交通の状況分析について説明 資料：別紙1～別紙15]

(会長)

有難うございました。いろいろと報告がありましたが、確認事項や質問等があればお願い致します。

(委員)

何点か確認と質問です。まずは、「別紙2」の運行状況を見ますと、毎年12月のクリスマス前後に利用者の数が多いという印象があります。これは年末年始で商店や医療機関が休みになる前に、買い物や診療等を済ますためのご利用が多いという風に考えていいのでしょうか。次に「別紙12」のお出かけ先別集計表で、例えば、区分「商店」がコープやゆめタウン等のショッピングモールの様な所なら、買い物だけではなく飲食が目的の方も含まれていると思われます。一方で区分「飲食」の利用人数は少ないですが、「商店」の中に項目で重複するものもあるのかという確認。次に、同じ表のお出かけ先の区分「公共施設」「自治会公民館」「福祉施設」のそれぞれ具体的な目的が分かれば教えて頂きたい。次に、デマンド利用者の中で、身体障害者手帳等の福祉関係の認定を受けている方々が全体に占める割合を教えてください。以上、よろしくお願ひします。

(事務局)

まず1点目の12月のご利用については、買い物または病院が多い状況です。特に病院に関しては、デマンドの運休明けまで薬が持たないので、年末年始の休みに入る前に行く方がおられるということを確認しております。他に12月のご利用が多い要因としては、偶数月で年金の支払月ということもあると思います。

(委員)

質問の意図としては、「別紙12」に書かれているデマンドの目的地イコール利用者のニーズが集まっている所で、そこに個別のニーズが具体的にあると考えたときに、例えば目的地が同じ場所であっても、Aさんはこういう目的があって、Bさんはまた違う目的があるとか、そういうところまでのニーズの把握がどこまでされているのかを確認したいということです。

(事務局)

そこまで詳しくは把握できていません。例えば、利用者が予約時にオペレーターに何の為に行くかまで言われた場合は分かりますが、目的地しか言われない場合は目的が分からない部分もあります。把握できている部分に関しては、特に年末年始の休みの間の薬をもらいに行かれるとか、お買い物に行かれるという場合が多いように思っております。

2点目の「商店」への利用については、ゆめタウンやコープのように買い物も飲食も出来る所があります。例えばグループで行かれるような場合は、買い物をして食事もするという場合もあるとは思いますが、目的地だけを聞いている場合には、やはり買い物先という区分でしか入れていないというところもあります。

3点目の「公共施設」「自治会公民館」「福祉施設」への目的については、例えば自治会

公民館ですと、その公民館で何か活動をされる場合と、自分や友達の家など本来の目的地の近くの乗降場所として利用している場合もあると考えています。また分かる範囲でオペレーターに確認をしておきたいと考えております。

(委員)

例えば、文化活動とか趣味活動ですか。

(事務局)

一例としては、住民センターであるカラオケ教室に参加するためにご利用頂いたという事もあったように聞いております。

4点目の料金区分については、通常利用は300円の区分で、13歳未満の方や身体障害者手帳等をお持ちの方、一部その介助者の方については200円の区分です。割合としては200円の区分のご利用が約2割の状況です。

(委員)

質問の意図としては、現在、福祉分野での移動手段の充実や補完的な形をどうするのかを考え始めていますが、その際にデマンドで対応可能な範囲の判断が何らかの形で出るのかという部分が気になったのでお聞きしました。

(事務局)

今ここには資料がありませんが、介助者としてご利用されている方をオペレーターにまとめて頂いております。以前は50~60名のご利用であったものが、平成28年・29年には100名を超えるご利用となっており、介助者として利用頂く方が増えている状況です。

(会長)

有難うございました。その他よろしいですか。

では、実際の運行主体のタクシー業者さんのお話もお聞きしたいのですが、デマンドとタクシーの最近の現場の状況をお願いします。

(委員)

デマンドは、先程説明があったとおりでと思います。タクシーの利用はデマンドが順調なのとは逆で毎年減っています。午前の状況を見ていると、やはり病院行きの方のタクシー利用が少なく、デマンドで行かれる方が多いと思うのですが、同様に朝の買い物もタクシーからデマンドに流れていると思われまます。このような状況が多数見受けられておりタクシーの現状は大変悪い状態です。

(会長)

有難うございました。その辺の兼ね合いも含めて考えていかないといけないということですね。その他よろしいですか。

ここまで一旦整理をしますと、まずはデマンドの状況から言いますと、運行開始から7

年経過してかなりのデータ蓄積がある中で、今年度は利用者がやや減少しました。それを増やしていく事、維持する事を考えていけないのですが、考え方としては、新しい人を増やすというアプローチと、今乗ってる人にさらに乗ってもらえるようにすればそれでいいのではないかと感じる場所もあるんですね。今まで相当多くご利用頂いていた方が乗れなくなったという話を聞くと、お亡くなりになられたり、施設に入所されたり等の理由があるのですが、その直前まで乗っておられたことから、かなり介護の先送りや介護予防に寄与、貢献しているのではないかとこの気付きもありました。また、年に200回程ご利用の方が亡くなると実績がガタンと減るところを見ますと、トリップ数を上げる事が一つの目標になってくるのではないかと思います。トリップ数というのは結局1人で3つ4つ移動するのも、3人4人で移動するのも一緒みたいなところがあるのですが、特に80歳以上のご利用者が多いことを鑑みますと、一緒に利用する方、数多く移動する方を1人でも2人でも多く増やしていくことが利用者を維持することに繋がると思いますので、いろいろな方々の協力を得ながら、その辺を目標として持って置くべきなのかなと思います。

次に、お出かけ先の分類を見ますと、病院・診療所は降車の方が多くて、商店は乗車の方が多くこと等から、例えば、複数の目的地があつて病院に行つてその帰りに買物して帰るという方も結構多いと思います。中には毎日のように病院・診療所、商店等と移動する方もあるかと思ひます。金融機関等の乗降者数については、年金の支給日にデマンドの利用者が多いということからすると少ないと思ひます。他には大体月に1回か2回位の目的地がありますが、例えば、公共施設で週に1回でもデマンドで行くような面白い企画があれば、もっと利用数が増やってくるのではないかと思ひます。いろいろな部局も入つていらっしゃるんで、目的地を増やすという事をもっと考えて頂いてもいいのではと思ひます。新たに見えて来た今後の目標として、目的地を増やす、乗る人を増やす、更に数多く移動する人を増やすという事を考えていければと思ひます。

次に、デマンドは旧町域内の短距離の移動にご利用頂いていて、日常の生活行動を支援する交通手段と位置付けることが出来ます。短距離と言つても丹波市は広域で場所によっては長距離になる所もあることから、度々要望に上がるエリアを越えた運行をするよりは、エリア内の移動をたくさんの方がよいのではないかと考えられます。但し、タクシー業界の厳しい状況をお聞きすると、例えば行く時はデマンドで、帰りは大きい荷物があればタクシーで帰るといふような方法を提案したり、タクシーのサービス等のいろいろな情報をコーディネートする力をつけていけないと思ひます。以上のようなことを意識しながら、皆さんの中でデマンド像の共有を深めて今後の考えに活かして頂きたいと思ひしております。

他にデマンドについて何かありますか。この件についてはよろしいですね。

それでは次の議事に進みたいと思ひます。2番目の路線バスの利用状況について説明をお願いします。

(会長)

有難うございました。これについては、運行主体のバス事業者さんから現状を聞きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

(委員)

別紙資料のとおり 29 年度の利用者数は若干減っています。30 年度の調査については 6 月時点での調査は実施しましたが、まだ集計が上がっていない状態です。それから、JR の 3 月 17 日のダイヤ改正に伴い、私共も 4 月 1 日にダイヤ改正を行ったのですが、乗務員から下校時に学生さんが乗らなくなったという報告があり、慌てて時刻を確認したところ、丁度電車の着く前にバスが発車しているような状況が発生していて、これは大変な事だと急遽 6 月 1 日からその時間の改正を行いました。学生さんに乗って頂けなければ乗車人数が上がらないので、どうにか乗ってもらえるように対策をしましたが、まだ十分に浸透していなくて親御さんが迎えに来ておられるケースもあるので、学校の方にも連絡する等の対応をしております。情報を共有して今後を活かし、乗車人数の維持に努めて参りたいと思います。

(会長)

有難うございました。学生さんは一番のお客さんなので、是非その辺りは連携しながら進めて頂くようによろしくお願ひします。

(事務局)

お配りしている資料に路線バスのチラシを付けさせて頂いておりますが、その中に柏原―青垣線の 6 月 1 日改正の時刻表を記載しております。改正部分は太字の黒字で記載しておりますが、平日の柏原病院 16 : 16 発、佐治 17 : 24 発と 18 : 15 発、土・日・祝の柏原駅 15 : 15 発、この 4 便について電車のダイヤに合わせて再調整をして頂きました。

(会長)

有難うございました。6 月 1 日から対応して頂いているということなので安心しております。バス利用も現在は頭打ちという状況が気になるところです。一時期は利用者の減少が大きくて平成 23 年頃にはいろいろな利用増進対策を実施しましたが、最近はそろそろ新たにやる事もなくなってきて、利用者も減少して、バスも難しい乗り物だと改めて思います。時々いろいろな増進対策を実施することは非常に大事な事だと思います。今年度は新病院行のバスの件も含めて利用増進対策も大事な話になってくると思いますので、来年度の「別紙 16」の利用増進対策欄には、新しい項目が追加出来るように考えて頂きたいと思ひます。

他に路線バスについて何かありますか。この件についてはよろしいですね。

それでは次の議事に進みたいと思ひます。3 番目の平成 29 年度の実施事業及び決算について説明をお願いします。

[平成 29 年度の実施事業及び決算について説明 資料：別紙 18～別紙 20]

(会長)

有難うございました。では、監査員の方から監査報告をお願い致します。

(委員)

監査報告をさせていただきます。5月11日に監査員2名で監査をしましたところ、平成29年度会計帳簿及び収支決算書につきまして、通帳、帳簿並びに関係書類等を厳正に確認させて頂いた結果、適正かつ正確な処理がなされておりましたことをここにご報告申し上げます。

なお、電話料金等で3月利用分が年度を跨って4月中旬以降に請求される場合の処理について聞いたところ、当該年度の会計処理とするため決算額の確定が遅くなるということでしたので、3月分利用で4月請求となる費用については、請求月の年度での会計処理をしてはどうかという意見を述べさせていただきました。

(会長)

有難うございました。会計処理は適正だったということですね。通信料については、年度を跨って請求されると前年の利用分が含まれてくるのでややこしいですね。その辺はしっかりと事務処理を詰めておいてください。

(事務局)

その件については、例えば電話料金ですと、3月利用分が4月請求分として、4月15日を過ぎてから請求書が届くこともあります。決算事務の関係は商工会さんにもお世話になっていますが、商工会さんの方でも会長さんへの報告等の期限が決まっている関係で、どうしても翌年度での処理になる場合があります。監査員さんには、3月末時点で支払額が確定している分は当該年度の支出処理として、請求書等が未着で支払額が確定していない分、または4月分として請求される分については、翌年度で処理をさせて頂ければというご相談をさせて頂いたところでした。監査員さんからご意見を頂いたということを踏まえて、今年度から事務処理を見直せる所は見直しながら、適正な会計処理に努めて参りたいと考えております。

(会長)

年度末で請求金額が未確定のものに関しては、少し先に送っての支払いシステムになる訳ですね。よろしくをお願いします。

では、この件についてご承認頂けますでしょうか。特にご意見はないので異議なしということでもよろしいですね。平成29年度の実施事業及び決算については承認されました。有難うございました。

それでは次の議事に進みたいと思います。4番目の平成30年度の事業案及び予算案につ

いて説明をお願いします。

[平成 30 年度の事業案及び予算案について説明 資料：別紙 21～別紙 23]

(会長)

有難うございました。確認事項や質問等があればお願い致します。

(委員)

先程、神姫グリーンバスさんから乗車人数の維持を図っていきたいという話が出たのですが、拡大ではなくて維持というのは、人口の減少等で徐々に利用人数が減っている現状があるのだらうと思います。私は車を利用することが多いのですが、地方に行った時は路線バスが非常に大事な交通機関だと感じます。しかし、需要と供給のバランスで今後どうなるのかは分からないと思います。神姫グリーンバスさんにお聞きしますが、事業（案）の3番の③バスサービスの見直しと検討には新病院乗入路線も含まれるということですが、その機会に、今後は乗車人数の維持だけではなく拡大に向けてのお考えが何かありますか。

(委員)

利用増進は非常に難しい課題と考えております。当社においては、丹波市のみに関わらず、通学、通院、買い物での利用者が主であると見ていて、その方々に如何にアピールしていくかが課題です。通学生については自転車通学とバス通学等ははっきりと分かれていますし、少子化ということもあり減っていくだらうと思っています。その中で、先程はデマンドでの外出が介護の先送りに繋がるという話も出ておりましたし、やはり高齢の方の利用促進をしたいところです。具体的には、ここ数年は丹波市さんにバス停近辺のお家へのチラシ配布をして頂いていますが、もし自治会の集会や老人会の集会等に事業者として参加させて頂く機会があれば、現状のバス事情や利用促進についてお話をさせて頂きたいと思っております。それから財政的な面では、丹波市さんにも路線維持について援助を頂いておりますけれども、例えば、法的な縛りはありますが、運賃の見直しを考えてはどうかと思っております。端から端まで乗ると結構高い路線もありますし、同じ町域内ではデマンドの方が安い運賃になっているところもあります。利便性でどちらを選ぶかというところもありますが、運賃制度についても見直してはどうかと思っております。

(会長)

なかなか難しい話かもしれませんが、丁度今は総会シーズンですので、是非いろいろな所に行って利用促進をして頂きたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(副会長)

この会議が始まる前に会長さんからお話しがあったのですが、やはりこれからは、住民に対してデマンドを含めた全ての公共交通に対する周知をしていかないと利用増進は見込

めないということで、自治会長会と致しましても、説明する機会を増やしていきたいと思っております。それから、先日の第2回未来都市創造審議会の間でもバス運賃の話が出ました。お子さんの通学にバスを利用したいという方で、週5日は利用したいけれども、運賃を考えると往復1日でも非常に利用はしにくいということでした。この件は神姫グリーンバスさんだけに負担をかけるのではなく、行政当局とよく擦り合わせをして良い方向へ進めて頂けたらと思います。

(会長)

やはりこういうことは、手を携えて協力してやっていくのが大事ですので、よろしくお願ひします。改めてバス停周辺の自治会の方に配布しているチラシを見ますと、ニコパカードを使うと440円が396円で行けるとか、他にも運賃がお得になる情報が載っていますので、学生さんなら入学の時とか、何かの機会にもっと多くの方に入手しやすくすると利用増進に繋がると思ひます。トータル的なサービスも含めて、自治会、PTA、婦人会等のいろいろな組織がありますから、そういう所にも時々でいいから公共交通をテーマにお話しして頂くだけでも全然違ふと思ひますので、事務局もその辺を配慮しながらいろいろやって頂きますようよろしくお願ひします。他に何かありますか。

では、この件についてご承認頂けますでしょうか。特にご意見はないので異議なしということでよろしいですね。平成30年度の事業案及び予算案については承認されました。有難うございました。

それでは次の議事に進みたいと思ひます。5番目の規約等の改正(報告)について、機構改革による事務局所管部署の変更だと思ひますが説明をお願いします。

[規約等の改正(報告)について説明]

丹波市地域公共交通活性化協議会規約

丹波市地域公共交通活性化協議会事務局規程

丹波市地域公共交通会議設置要綱

丹波市有償運送運営協議会設置要綱

(会長)

内容的には、4月1日付の機構改革による事務局所管部署の変更に伴ひ名前等が変わったということですが、これについて如何ですか。よろしいですね。規約等の改正(報告)については承認されました。有難うございました。

それでは6番目のその他ですが、まずは皆さんから何かありますか。

(委員)

兵庫陸運部です。「てくてくたんば」はすごく良く出来ていると思ひますが、デマンドの登録世帯に限って配布しているというのは予算の都合ですか。例えば全戸配布はしないのですか。

(事務局)

その点については、私共の部長の方からも指摘を受けております。ただ公共交通ガイドは、市としてではなく本協議会として発行しているものなので、例えば広報誌と一緒に配布出来るような方法があればとは思いますが、それについては広報担当の部署とも協議ができればと考えております。またその場合は、デマンドの登録世帯約 5,000 世帯への郵送料を印刷代に充てることも検討できます。ただ現在の状況としては、市民の方がよく行かれるような商店や医療機関等の 193 施設に設置して頂いて、各地域の支所まで行かなくても周辺のお店や医院での入手が可能だと考えておりますので、全戸配布については今後の課題として考えていければと思います。

(会長)

有難うございました。大きな出来事がある場合は、全戸配布についても考えるときがあるかもしれないですね。例えば新病院のバスの話も出てくるとは思いますし、予算の問題もあるとは思いますが、広く皆さんにお伝えしたい事があるときは臨機応変に進めていければと思います。その他よろしいですか。では事務局からお願いします。

(事務局)

今回の開催については、福祉有償運送で 11 月に更新期限となる案件の関係で、9 月か 10 月には有償運送運営会議を予定しておりますので、本会議もそれと合わせて開催できればと考えております。日程については、本会の会長と有償運送運営協議会の会長ともご相談させて頂き、日程等決まりましたらご案内をさせて頂きたいと思っております。

次に、神姫グリーンバスさんと協議している新病院乗入路線案については、今回の会議時点で示せるものがあれば、お示したいと思っておりますが、合意を必要とする年内には、この件に関する協議をお世話になりたいと考えております。

また、昨年度の第 3 回交通会議で報告をさせて頂いた基礎調査業務報告書に関して、長田先生からご指摘を受けている福祉施策の見直しについては、私共と福祉担当部署とで協議を進めているところです。先日は長田先生にもお世話になり、今後の方向性を考えていく協議を持ちましたが、この件についても、ある程度方向性が決まった段階で、本協議会で審議、報告等ができればと考えております。以上が今後の予定です。

(会長)

有難うございました。今回は有償運送運営協議会と同時開催になる予定ということですので、ご予約をしておいて頂ければと思います。

それでは閉会にしたいと思いますけれども、この交通会議では、過去の事を見ながら、今の事を考えて、更には未来の事も考えてと、結構難しい宿題が一杯あると思っております。大事なものは、現場を知って、集まって、しっかりと共有して、それを各方面に伝えていくところですので、引き続き皆様のご協力を頂いて進めていけたらと思います。

それでは、最後に副会長からご挨拶を頂きたいと思っております。

(副会長)

本日は、本年度第1回目の会議ということで、お忙しい中、ご出席を賜りまして有難うございました。冒頭の会長の挨拶にもありましたが、20年後の丹波市を考える審議会では、公共交通のあり方を外しては考えられません。今年度1年間かけて審議をする訳ですが、皆様方のご意見を聞きながら進めて参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

それでは本日は閉会とさせていただきます。お帰りの際には十分お気をつけください。有難うございました。